

1 教科について

国語

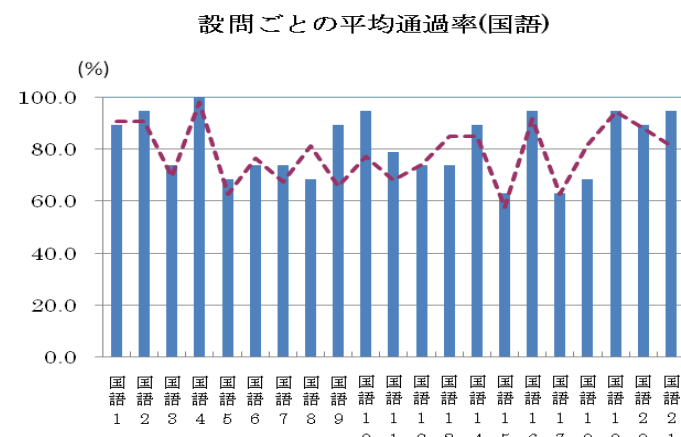
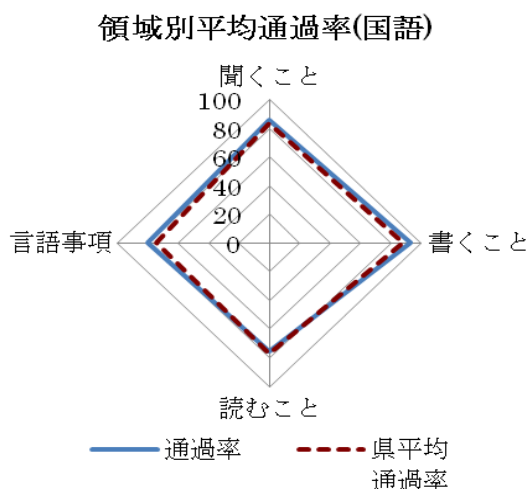
昨年度の課題

- ① 話の中心，構成等に注意して聞くことが十分ではない。
- ② 登場人物の相互関係をとらえ，想像を豊かにしながら心情を読み取ることに課題がある。
- ③ 自分の考えを，理由づけしながらまとめることに課題がある。

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

- ① 朝の会のスピーチタイムや授業の中での話し合いで，自分が伝えたいことは何か，共に考えたいことは何か等を整理しながら，相手の話の内容を聞き取らせた。
- ② 物語教材において，登場人物の各場面での心情曲線をかいて気持ちを読み取らせた。
- ③ 自分の考えを発表する時，根拠をはっきりさせながら理由づけをしたり，結論先行発言や順序を表す言葉を使ったりした発言をさせるようにした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **81.5%** 県平均 **78.5%**



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・各段落の中心となる語や段落相互の関係をとらえることができる。
- ◎・・・漢字の読みが正確にできる。
- ◎・・・主語と述語の関係を正しくつかむことができる。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 「段落ごとの要点をまとめたカードを用いて段落構成図を作り説明する」「教材の文章全体の展開をまねて説明文を書かせ友だちと交流させる」「文章全体を繰り返し読む活動をする」の指導を行い，段落相互の関係を考えさせたり，要旨をとらえさせたりする。
- ② 日々の漢字練習を大事にし，10問などの小テストを繰り返し行い定着を図る。
- ③ 文章を正しく理解，表現させるために，一文の主語をとらえさせたり，自分が書いた文の主語と述語のねじれを直させたりして，主語と述語の関係を繰り返し取り上げて指導する。

来年度の目標値

- 読むことの領域において，県の平均通過率より5ポイント上回るようにする。
- 言語事項の領域において，県の平均通過率より5ポイント上回るようにする。

指導方法等の改善計画について

算 数

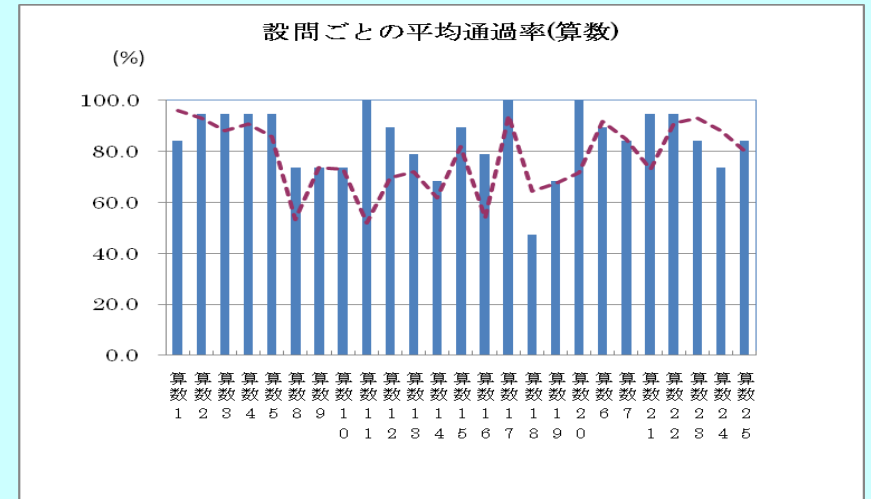
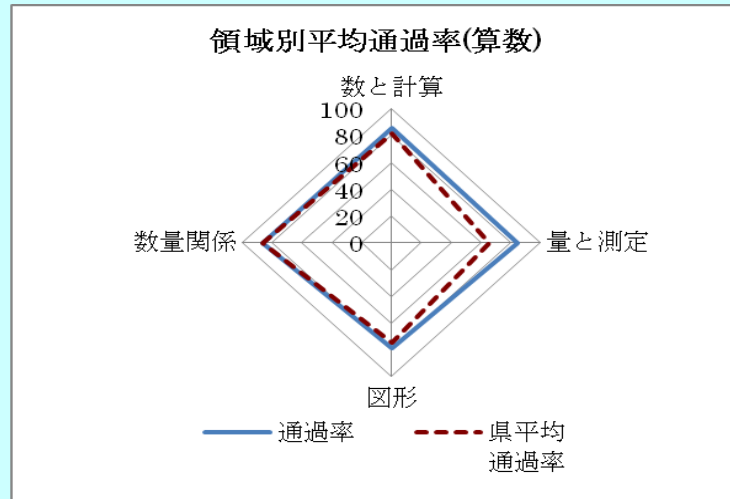
昨年度の課題

- ①分数の意味と表し方の理解が十分でない。
- ②数量の関係を式で表すことができていない。
- ③図形の観察・対応と数学的な用語を使って分かりやすく表現することに課題がある。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 等分してできる部分の大きさを分数で表す力をつけるために、具体物を用いて分数で表す経験をさせ、量感覚を持たせるようにした。
- ② 計算の順序のきまりを習熟させた。さらに、文章問題では、関係図を取り入れて数量関係をとらえさせ、式に表す活動を取り入れた。
- ③ 図形の定義や性質をおさえ、その用語を使って説明するようにさせてきた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **84.4 %** 県平均 **77.8 %**



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査

- ◎・・・定義や性質から長方形を判断することができる。
- ◎・・・棒グラフや折れ線グラフから変化の様子を読み取ることができる。
- ◎・・・数量の関係から規則性を見つけることができる。
- ◎・・・繰り上がりのある加法 (2位数) + (2位数) の計算をすることができる。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

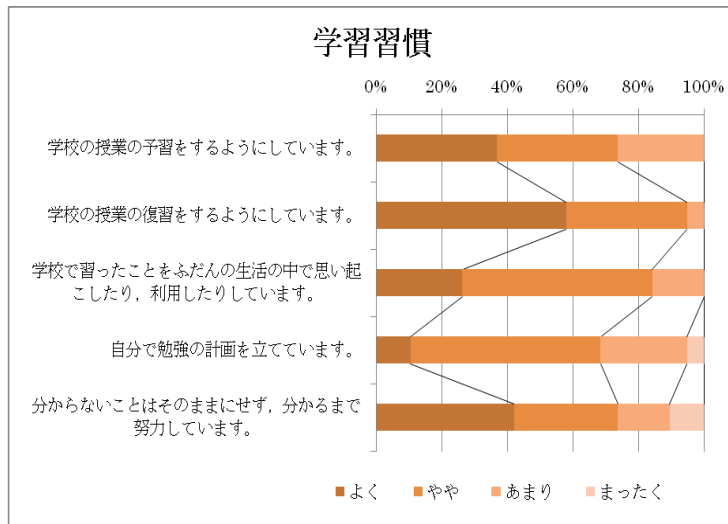
- ①基本的な平面図形の定義や性質を理解させるために、図形を構成したり分解したりする活動等の算数的活動を取り入れていく。
- ②既習の知識および技能を活用することができるように、児童が資料の特徴を説明したり、主張したいことを伝えたりする場面を設定する。
- ③数量の関係を見いだす力を身に付けさせるために、「表やことばの式を使って考える」問題解決をする場面を設定していく。
- ④基礎的な計算の技能の習熟を図るために、ドリル学習を適宜設けていく。

来年度の目標値

- 図形の領域において、県の平均通過率より5ポイント上回るようにする。
- 数量関係の領域において、県の平均通過率より5ポイント上回るようにする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

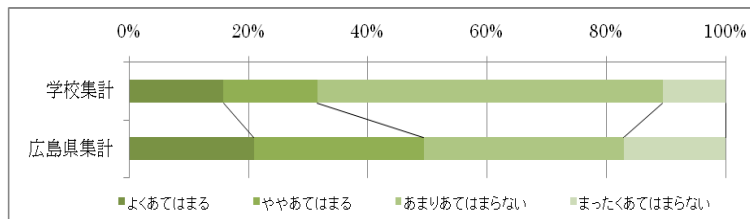


改善したい点（◎「基礎・基本」，）	今後の具体的な取組の内容
◎自分で学習の計画を立てていない児童が多い。 ◎分からないことばをそのままにしている児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習で予習や復習をする際の内容例を提示し，その内容を選択させることで，自分で計画を立てて実行する力を養う。 授業や家庭学習の中で，分からない言葉があったときには常に辞書を使って調べる習慣をつける。

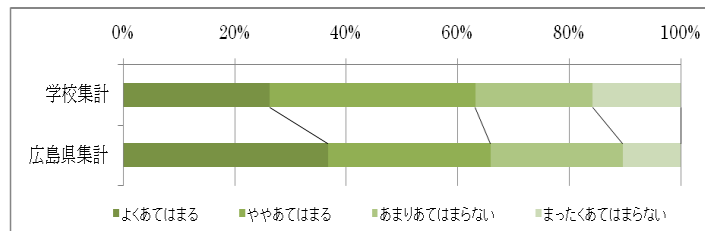
来年度の目標値	・自主学習で学習の計画を立てて予習復習ができる児童の割合を70%以上にする。
---------	--

(2) 教科

国語の授業では，メモをとりながら聞くことがあります。



算数の授業では，文章を式で表したり，式にあてはまる問題を作ったりすることが好きです。



	児童の回答と学校の指導についての課題（◎「基礎・基本」，）	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎国語の授業では，メモをとりながら聞くことができない児童が65%いる。前年度の43%を20ポイント下回った結果となっている。話を聞く時，メモをとる習慣を身につけさせていなかった点に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 「何のために聞くのか」という目的を意識させ，メモの取り方を指導する。また，友だちのスピーチを聞いてメモをとったり内容をつかんだりする場の設定をする。
算数	◎算数の授業では，問題場面を必ず図に表す指導を繰り返してきた。しかし，文章を式化することを好んでいない児童は40%近くいる。図に表すことが式化への手がかりとなっていない実態がある。また，式にあてはまる問題作りをする場面を授業の中にあまり取り入れていないため，問題作りを好まない児童が40%近くいるという課題がみえる。	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで図に表し，それを手がかりに式化するという流れを繰り返すことで，式化する力を養う。 学習の中に文章問題作りの場面を多く取り入れたり，友だちが作った問題を解き合ったりすることで，問題作りの楽しさを味わわせる。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を正確に聞き取る児童の割合を70%以上にする。 文章問題を好んで解こうとする児童の割合を70%以上にする。
---------	--

指導改善のための実施スケジュール

